



の電話帳登録もボチボチ。そうなると悪循環で、誰からかかってくるかわからないのでなおさら電話が怖くなる。

さらに、僕のライフスタイルから言うと、寝ているときには電話に出られない、診療中は絶対に出られない、自転車移動中には出られない、食事中は出ない…ということで、携帯電話に出られる時間は一日にごくわずか。スマホ世代の若者からは考えられないライフスタイルです。

先日、三日ほど携帯を持たない時がありました。カバンに入れたまま純粹にその存在を忘れてしまっていました。気づいたのもカバンを見て偶然発見したというありさま。この間、携帯の着信は…妻からの一件の

み。やっぱり僕に携帯は必要ないかな？

齋し？

昔はもっとですけれども、今でも医療者は偉ぶっています。僕たちが大学に入った頃から「インフォームドコンセント（説明と同意）」というような言葉が出てきましたが、その前は「俺がやるから文句を言っな！」的な世界でした。

もちろん歯科の中でもそのような雰囲気があります。僕は昔、当時出てきた「予防歯科」という分野に興味があり、その道に進もうと思っていました。その「歯磨き指導」の教科書には、僕の感性とは全く異なることが書いてありました。「その場で歯磨き

をさせて汚れを染め出し、汚れを指摘して本人のブラッシングの意欲を高める」という内容でした。やらせておいて欠点を指摘するという辱めを与える方法には全く納得いかず、人生で一度もこの方法で指導したことはありません。これって上から目線ってことですよ。当然…予防歯科に進むことありませんでした。

人間のモチベーションを上げるのは難しいことですが、やってみて、成果が出てきて、医療者と指導される側で、ライフスタイルなども考えた上でどのようなブラッシング方法が良いのかオーダーメイドで考えていくのが真の指導です。まだまだタカビーな世界だと思えます。

